

《指導目標》

○生徒本位の塾を目指します。

生徒やご家庭が塾に望むことをまず考え、可能な限りそれに応える形で授業の提供をしていくという姿勢で塾を運営しています。

○生徒が安心して通える塾を目指します。

感染症対策も含めた教室管理に気を配り、講師についても生徒にとって身近な存在と接していくことを大切にしています。

○生徒が時間や精神面での負担がない塾を目指します。

生徒の様々な事情にも耳を傾けながら可能な範囲で対応しています。

○保護者の方がお子さんを安心して通わせられる塾を目指します。

安心をいただくためには塾への信頼、十分な情報提供、対応力が不可欠です。生徒本位を基本に誠意と熱意をもって対応しています。教育、受験に関する情報提供と生徒に関する情報共有を大切にしています。学校やご家庭の事情にも極力対応しています。

○保護者の方の経済的負担が少ない塾を目指します。

選択肢を増やして無駄のない受講を提供するよう努めています。また受講教科に関わらず無料で教材の提供、貸与を行っています。

○生徒の深い理解に繋がる質の高い指導をする塾を目指します。

モットーでもある“物事の本質”の理解を目指して指導に当たっています。

○生徒が最良の結果を出せる塾を目指します。

生徒自身の成長や学校の成績など、個々の生徒にとっての“最良の結果”を目指します。ご家庭や生徒の事情も踏まえた最も有効な手立てを提案、提供するように努めています。受講教科以外の学習のサポートもしています。

○生徒が学ぶ喜びを感じられる塾を目指します。

理解の先にあるものを感じてもらえるように指導に当たっています。

○役割を明確にし、それを実現できる塾を目指します。

当塾だからできること、当塾しかできないことを明確にお伝えした上で、通塾して受講していただくようにしています。

○周辺地域の生徒さんや保護者の方へ貢献できる塾を目指します。

当塾に直接関わらないご家庭にも、無料公開セミナー等で入試や教育改革等についての有益な情報などをお伝えしています。

《指導方針》

- 本質の理解から実践につなげていけるような指導を心がけます。
‘在り来たり’な説明、表面的な安易な説明を避け、深い理解や実践力につなげるための、価値ある授業を提供するよう心がけます。
- 生徒が常に目的意識を持って学習するようにします。
授業の中で各自の目標などを聞きながら生徒本人の意識を高めるよう心がけます。
- 生徒が先を見据えて学習できるように努めます。
学校の進度に配慮しながら授業を進め、その進行予定等も生徒に伝えながら授業を進めていきます。受験指導では入試対策の進め方なども丁寧に伝えていきます。
- 手応えを感じながら学習を進められるように工夫して指導を行います。
一方的な説明に偏らず、対話形式の学習も取り入れ、個々の生徒の評価もしながら指導を進めます。
- 視覚、聴覚など感覚的理解を大切にします。
教具の使用を工夫するなど効率的な授業、魅力ある授業を心がけます。
- 講師は生徒との距離が生じないように接していきます。
親近感をもてるように、授業外の時間にもなるべく多く声がけをしていきます。
- 生徒がリラックスして学習に望めるように心がけます。
講師のスーツ着用など、不要な緊張感につながるものは排除し、形式ばらない接し方をする中で、必要な緊張感とリラックスを演出します。
- 学校行事等を考慮して、可能な範囲で授業日程を調整して対応します。
修学旅行や定期試験などの学校行事の事情を考慮して、授業の日程を調整します。
- 受講科目は自由選択とし、生徒や家庭の負担を少なくします。
通常授業、春期講習、夏期講習、冬期講習等において、1教科から教科を自由に選択できます。通常授業では月単位で教科を変更できます。常に有効な受講を継続してもらえるように柔軟に対応します。
- 生徒の身になって有効な授業を提供していきます。
受講教科なども無理な選択を強いることなく、状況によっては他塾との併用を提案するなど、生徒や家庭の利益からの発想で対応していきます。
- 親身な指導をします。
状況によっては授業外でも個々の生徒に対して学習補助などをしていきます。
- 指導経験、指導力、熱意を持ったベテラン講師が各専門教科を担当します。
毎年度、教科専門の担当を固定して通常授業を行います。クラス授業の弊害が出ないように対応力をもって望みます。
※春期講習以外の講習は基本的に通常授業と同じ講師が担当します。
- 学校の授業内容の理解の充実を図り、常に高校入試を視野に入れた実力養成を進めます。
特に1年生や2年生では学校の補習を軸に進めますが、その中にも入試に向けた実力養成も入れていきます。3年生では通常授業から学校の補習内容と受験対策を並行して進め、2学期期末試験終了後は受験対策のみに切り替えます。

- 実技教科でもサポートします。
内申を重視して、実技教科でも可能範囲でサポートをしています。
- 主に都立高校の受験を念頭に、内申と実力養成の対応を進めます。
中3の2学期以降は授業の中で都立高校の過去問題や予想問題等も利用して具体的な対策を進めます。
- 推薦入試対策を積極的に進めます。
当塾ならではの、非常に充実した対策をして明確な結果につなげています。一般入試の負担を軽減するため早い時期から準備を促しています。
面接は基礎練習を夏休みから徐々に行い、志望校が定まってくる頃から過去の質問事項を軸に具体的な実践練習を重ねます。
集団討論は実践的な練習会に参加するなど、当塾だけの結果に直結する極めて有効な対策を行っています。※令和3年度、4年度の都立高校推薦入試では除外されました。
作文や小論文については、対面の直接指導を行い、添削ではできない根本からの磨き上げをします。
- 私立高校の推薦入試や一般入試(併願受験)にも対応します。
私立受験の個々の生徒に対応していきます。
- 受験、入試に関するきめ細かな情報提供をしていきます。
塾内の入試説明会などで早い時期から入試についての有益な情報をお伝えしながら生徒やご家庭が無理のない準備を進めて、納得のいく受験ができるようにします。また当塾加盟の東京私塾協同組合主催の受験相談会なども活用していただいています。
- 教室が対応できることと出来ないことを明確にし、指導に当たります。
自信をもって提供できる授業、本当に役に立つ授業のみを行います。
- 家庭とのコミュニケーションを大切にします。
二者面談、三者面談をしっかりと行います。また電話やメール、書面などでのやり取りなども通じて意思の疎通や情報の共有を大切にします。
- 家庭の経済的な負担をなるべく軽減できるように心がけます。
受講教科以外のテキストを貸与したり、学習用のプリントを提供したりします。
- 受験や教育に関する情報や提案などを発信していきます。
資料の配布や説明会等を行い、生徒やご家庭に情報提供をしっかりと行っていきます。

《学習指導内容》

- 前学年までの範囲の復習（必要な場合）
- 学校の授業の補習(予習、復習)
- 定期試験対策
- 長期的な実力養成
- 実践的な一般入試対策(主に3年生)
- 実践的な推薦入試対策(主に3年生)
- 英語検定対策（希望者対象）
- 推薦入試対策〔面接、作文/小論文、集団討論〕
- 学習方法等の指導〔教材の無料提供なども含む〕

《指導形態》

少人数制クラス 中3 — 5教科

中1、2 — 数学・英語・(国語・理科)

- 板書形式の説明や問題演習を行います。
- 基本は一斉授業ですが、生徒と対話しながら常に個々の生徒の状況や中学校ごとの進度に配慮しながら進めていきます。
- 必要に応じて個々の生徒に対して、課題や補習など一部異なる対応もしていきます。
- 基本は学年ごとに1教科1クラスですが、英語と数学については状況によりクラス分けをします。
- 個別指導の受講との併用もできます。

【クラス分け】(令和4年度4月)

1年 英語、数学 各1クラス
(国語、理科) 未定

※受講希望の生徒が複数いる場合は設置を検討します。

2年 英語、数学 各1クラス
(国語、理科) 未定

※受講希望の生徒が複数いる場合は設置を検討します。

3年 英語 2クラス(習熟度別) Aクラス、Sクラス
数学 2クラス(習熟度別) Aクラス、Sクラス
国語・理科・社会 各1クラス

※受講生の状況等により年度の途中の時期にクラスを増設する場合があります。

課題提出コース 中1、2 — 国語・理科・社会

- 準拠ワークや基礎重視のテキストなどを利用し、生徒と教室で「課題提出」と「正誤確認後に返却」を毎週進めていきます。

作文演習コース 中1、2

- 毎月一課題を「提出⇒直接指導⇒再提出⇒直接指導」のサイクルで演習を重ねていきます。

作文/小論文対策コース 中3

- 一課題を「提出⇒直接指導⇒再提出⇒直接指導」のサイクルで生徒のペースに合わせて具体的な試験対策を進めていきます。基本は毎月1サイクルですが、2学期以降は生徒のペースに合わせて進めていきます。

《クラス授業》

1年生 英語、数学、(国語・理科)

- 各教科 週一回 120分 (19:20~21:20) ※国語・理科は60分
- 各教科、指定の曜日に受講します。(時間割参照)
- 担当講師は年度内固定です。(春期、夏期、冬期の講習は別の扱いです)
- 教科を選択して1教科から受講できます。(月ごとに変更可)

☆国語は受講希望者がある場合にクラス設置を検討いたします。

指導内容

教科	指導内容
英語	<p>これからの英語学習に十分対応していくために強固な下地を築くことが重要です。フォニックス(スペルと発音の関係性)の学習をベースに、言葉を覚える力をつけ単語力をアップしていきます。</p> <p>文法は表面的な決まりを覚えるのではなく、言葉(単語)の持つ本質的な意味の理解から真の理解と応用力につなげます。</p> <p>教科書の内容は、学校以上に丁寧に確認していきます。準拠ワークや準拠単語集等を使用して通常授業から学校の予習と復習を行い、定期試験に備えます。</p> <p>リスニング、ライティング、スピーキングの練習も授業の中に取り入れていきます。</p>
数学	<p>算数の重要事項を確認した上で、数学の指導を進めていきます。単元ごとに、導入段階で基礎レベルに重点を置いたテキストを用いてゆっくりと無理なく進め、ある程度進んだ段階で準拠ワークで教科書の内容を順番通りに確認していきます。</p> <p>生徒の理解度を見ながら、同類の問題演習を繰り返したり応用の要素を持った問題を組み込んでいきます。</p>
国語	<p>学校の補習に加え、先を見据えた実力錬成も進めていきます。教科書の題材を理解することに重点を置きながら、準拠ワークを用い日頃から定期試験対策をしていきます。</p> <p>文法や作文に特化したテキストを用いて文法の理解や正しい文を作る力もつけていきます。また初見の文章問題への対応力も重視していきます。</p>
理科	<p>学校の補習に重点を置きます。教科書準拠ワークと基本重視型の理解しやすいテキストを併用してまずは基礎を固めます。</p>

宿題

授業内容の定着や既習事項の確認のため、宿題は基本的には毎回出します。個々の生徒の事情や状況を踏まえて、個別の課題を出す場合もあります。

2年生 英語、数学、(国語・理科)

- 各教科 週一回 120分 (19:20～21:20) ※国語・理科は60分
- 各教科、指定の曜日に受講します。(時間割参照)
- 担当講師は年度内固定です。(春期、夏期、冬期の講習は別の扱いです)
- 教科を選択して1教科から受講できます。(月ごとに変更可)

☆国語は受講希望者がある場合にクラス設置を検討いたします。

指導内容

教科	指導内容
英語	<p>学校の補習を軸に受験を視野に入れた実力錬成も進めます。本質の理解を重視して学習の効率化、応用力につなげます。</p> <p>文法は単語の持つ本質的な意味を確認しながら、言葉(文)の意味を確認していきます。実践的な文型の理解も重視します。</p> <p>教科書本文も単語の確認から一文一文の完全理解を図ります。準拠のワークや単語集を使い通常授業から定期試験に備えます。</p> <p>長文問題も徐々に増やし、並行してリスニング、スピーキング、ライティングの練習も行い対応力、応用力につなげます。</p>
数学	<p>單元ごとの導入段階では、基礎レベルに重点を置いたテキストを用いて無理なく進めます。ある程度進んだ段階で準拠ワークで教科書の内容を順番通りに確認していきます。</p> <p>生徒の理解度を見ながら、応用の要素を持った問題を組み込んでいきます。また教具の使用を工夫して、視覚的な学習で感覚的に理解していくことも大切にします。受験につながる証明や関数の基礎をしっかりと理解できるように努めます。図形の証明問題は個々に対応をして具体的な指導をしていきます。</p>
国語	<p>学校の補習に加え、先を見据えた実力錬成も進めていきます。教科書の題材を理解することに重点を置きながら、準拠ワークを用い日頃から定期試験対策をしていきます。</p> <p>文法や作文に特化したテキストを用いて文法の理解や正しい文を作る力もつけていきます。また初見の文章問題への対応力も重視していきます。</p>
理科	<p>学校の補習に重点を置きます。教科書準拠ワークと基本重視型の理解しやすいテキストを併用してまずは基礎を固めます。</p>

宿題

授業内容の定着や既習事項の確認のため、宿題は基本的には毎回出します。個々の生徒の事情や状況を踏まえて、個別の課題を出す場合もあります。

3年生 英語、数学、国語、理科、社会

- 各教科 週一回 [英語、数学、国語] 120分 (19:20～21:20)
[理科、社会] 90分 (19:20～20:50)
- 各教科、指定の曜日に受講します。(時間割参照)
- 講師は年度内固定です。
(夏期講習、冬期講習も各教科とも通常授業と同じ講師がそれぞれ担当する予定ですが、春期講習は別の扱いです。)
- 教科を選択して1教科から受講できます。(月ごとに変更可)

指導内容

教科	指導内容
英語	<p>基本的には学校の授業の補習（定期試験対策）と実力錬成を軸に進め入試対策につなげていきます。</p> <p>1学期は1・2年の既習事項の復習の上に、受験に向けた学習の仕方を身に付けていきます。2学期の期末試験までは、学校の進行順に沿って文法事項を先行して学習し、補習として教科書の内容を確認しながら教科書準拠ワークで演習していきます。学校では詳しい説明がない教科書本文もしっかりと正しい説明をしていきます。リスニングやスピーキング、長文問題、英作文なども含め入試に向けた実力錬成も並行して進めます。</p> <p>2学期の期末試験終了後は完全に入試対策に切り替えます。過去問等の実践演習を重ねながら、個々の生徒の課題(弱点)への対応も行っていきます。</p> <p>習熟度別クラスで、それぞれの目標に向けた的確な対策を進めます。塾長が本質から実践につなげる授業をしていきます。</p>
数学	<p>学校の授業の補習（定期試験対策）と実力錬成を軸に進め入試対策につなげます。2学期期末試験後は入試対策に切り替えます。</p> <p>1学期は学校の補習と並行して1・2年の学習事項も含めた計算の基礎固めも重視していきます。2学期期末試験までは準拠ワークを軸にして補習と定期試験対策を進めます。状況に合わせて徐々に実践的な問題へのアプローチも増やしていきます。</p> <p>2学期期末試験後は都立入試必出の基本問題への対応の完成度をアップして、得点の最低ラインの底上げを図り、次のレベルへつなげます。過去問等の実践問題の演習を重ね、個々の生徒の弱点強化も織り込みながら具体的な対策を進め、応用力までつなげます。習熟度別クラスで、それぞれ理系のベテラン講師が生徒に合わせた対応をしていきます。</p>

国語	<p>基本的には学校の授業の補習（定期試験対策）と実力錬成を軸に進め入試対策につなげていきます。2学期期末試験後は入試対策のみに切り替えます。</p> <p>2学期期末試験までは、準拠ワークの問題も使用して語句や読解など教科書の題材を理解することにも重点を置きながら、定期試験対策の完成度を上げていきます。並行して、慣用句や読解問題など入試を視野に入れた総合的な実力錬成もしていきます。</p> <p>2学期の期末試験終了後は実践問題や過去問に完全移行して幅広い対応力をつけていきます。読解の要領なども丁寧に指導していきます。大学などでも指導している国語専門のベテラン講師がやさしく丁寧に指導をしていきます。</p>
理科	<p>学校の授業の補習（定期試験対策）を軸にしながら、実力錬成を進め入試対策につなげていきます。2学期期末試験後は入試対策のみに切り替えます。</p> <p>基礎重視のテキストや教科書準拠ワークをメインに使用して、まずは基本事項の着定を図ります。実力錬成問題も組み込んで幅広い対応力をつけて定期試験全般への対応を目指します。</p> <p>2学期期末試験後は実践問題や過去問に移行して入試対策を進めます。組合独自の都立入試出題予想も踏まえ、より具体的な対策を重ねます。中学校で理科を指導していたベテラン講師が基本からじっくり対応していきます。</p>
社会	<p>社会は学校の先生の個性が色濃く指導に出る教科です。準拠ワークでの補習だけでは十分な対応はできません。学校の先生が取り上げた内容等を踏まえて、担当講師がアレンジしたプリントなどを使いながら具体的な定期試験対策をします。</p> <p>2学期の期末試験終了後は実践問題や過去問に移行して入試対策を進めます。組合独自の都立入試出題予想も踏まえ、より具体的な対策を重ねます。</p> <p>ともすると退屈な授業になりがちな教科ですが、ベテラン講師がかみ砕いた魅力的な説明で生徒参加型の授業を進めていくので、楽しみながらしっかり学べます。</p>

宿題 授業内容の定着や既習事項の確認のため、毎回出します。個々の生徒の事情や状況を踏まえて、個別の課題を出す場合もあります。各教科、担当講師の判断で異なる形式で宿題を出します。

☆社会の授業は教室、講師の事情により、基本として

日曜日 120分授業3回 を1月分の対応とさせていただきます。

《コース授業》

当塾のコース授業は、年間の通常授業と並行して、個々の生徒の希望で受講を選択します。

- ◎コースによって受講形態は異なります。
- ◎コースの受講は特定の時間枠が決まっていません。
受講開始の際に個々の受講の要領を教室と相談で決めます。
- ◎担当講師は固定です。
- ◎1つのコースから受講でき、複数のコースの受講も可能です。
- ◎受講は月単位の扱いなので、月ごとに受講変更ができます。
※3年の「作文/小論文対策コース」は生徒のペースに合わせて進める場合もあります。
- ◎各コースとも担当はそれぞれ固定です。

課題提出コース 中1、2 — 国語・理科・社会

家庭での自主学習では不安を感じる、あるいは自主学習をしていくのが難しいという生徒に利用して欲しいコースです。

当塾では、国語・理科・社会のクラスを常設しておりませんので、それを補う意味も含めてこちらのコースをご提案しております。

- 授業形式ではなく、課題提出と間違い箇所の修正を毎週繰り返す学習形式のものです。
- 1コース1教科選択の扱いとなります。(複数コースの選択可)
- 準拠ワークや一問一答形式のテキストなど、個々の生徒の状況や希望に応じたテキストを用います。
- 毎回、指定された箇所の課題を家庭で解き、後日教室に提出し、採点(誤りの確認)されたものを受け取り、間違い箇所の修正と新たな箇所を解いて提出するという形です。
- 課題の提出と受け取りを1サイクルとし、これを毎週繰り返します。
※通常授業の受講が1教科の場合は事前に相談が必要となります。
- 基本は月4サイクルの扱いでの受講となります。
※定期試験の前後などは、状況に応じて日程を変更して対応します。

作文演習コース 中1、2

文章を書く機会がない、文章力がない、という生徒対象のコースです。今後、よりしっかりした文章力が全ての学生に求められることとなります。国語の試験問題の中の作文問題の対応や入試の作文対策を早めに準備していくためにも、是非受講して欲しいコースです。生徒の状況に応じて、テキストを用いて正しい文の書き方のトレーニングもします。

- 生徒の状況や要望に応じて課題を出していきます。
- ある程度の力がある生徒は、実践的な課題作文に移行していきます。また暫定的な志望校が決まってきた生徒は過去の出題傾向なども意識した課題で指導を進めていきます。
- 毎月一課題を「提出⇒直接指導⇒再提出⇒直接指導」のサイクルで演習していきます。
- 通常授業の授業日に提出と受け取りを行うのが基本となります。
- 指導は個別の対面授業です。1回の指導は30～40分程度です。

作文/小論文対策コース 中3

文章力に自信がない、志望校の入試課題に作文または小論文が含まれる、という中3生対象のコースです。

単に作文の書き方を練習するのではなく、課題の解釈のし方、課題文の読み取り方、題材の選び方などを対面でじっくり確認する作業をします。一般的な作文対策にはない一歩踏み込んだ有効な訓練を行います。

国語の入試問題の作文の対策にも有効ですが、推薦入試で作文や小論文が課せられる生徒には必ず受講してほしいコースです。

- 生徒の状況や要望に応じて課題を出していきます。
- 志望校の入試課題によって作文か小論文を選択します。
※小論文対策の生徒でも始めは作文から訓練してもらいます。
- 志望校が特定した時点からその学校の出題傾向にあわせて準備を進めます。2学期以降は過去の出題課題も練習します。
- 一課題を「提出⇒直接指導⇒再提出⇒直接指導」のサイクルで演習していきます。
- 基本は一月に一課題ですが、入試前などは生徒のペースで進めることもできます。
- 指導は個別の対面授業です。1回の指導は30～40分程度です。
- 通常授業の授業日に提出と受け取りを行うのが基本となります。
- 通常授業のない外部生の場合は、来塾時に提出と指導を行います。
- 理想は二学期のうちに終了して、後は一次試験対策に集中です。

《個別授業》

授業形態

- 個別指導(1:1) 講師と生徒が完全なマンツーマンで進める授業を指します。担当講師は固定です。生徒や教室の都合で授業日時を変更可能です。
- 個別指導(グループ) 友達同士で同じ内容を学習するケースです。たまたま2～3人の友達と一緒に同じ内容の授業を受けられるという場合です。個別の生徒を組み合わせると同時に進行する形ではありません。

指導内容

学校の授業の補習、定期試験対策、受験対策などで、希望する教科や分野、進め方などを予め決めて授業を行います。私立や中高一貫校などの受験対策等については、内容により対応できない場合もあります。

授業回数

- 回数固定型 曜日を固定して週に1回、または2回行います。(回数は選択) 1:1、グループともに指導回数は、毎月4週分といたします。
- 費用換算型 基本の授業日(曜日と時間)は固定しますが、生徒の希望や都合に合わせて対応して、毎月の回数(時間数)で換算して費用をご請求をさせていただきます。

スポット/短期集中型

生徒の事情にあわせて一回ごとの指導日時を決めながら、指導回数に捕らわれず長期/短期的に対応していきます。
※指導料は案件ごとに、内容等に応じた具体的な金額をご提示します。

授業時間

- 1回 60分、90分等を選択
事情によりその他の授業時間を希望される場合にも対応します。

費用

- 入会金 15,000円 ※スポット/短期集中の場合は免除。
- 指導料 回数固定型 毎月の授業料は別途ご案内いたします。
スポット/短期集中型 個別に授業単価をご提示します。
- 教材費 指導内容により異なります。個々にご案内いたします。

《費用》〔クラス授業 / コース授業〕

【入会金】 15,000 円 〔全学年共通〕

【授業料】

〈クラス授業〉

1 年生 / 2 年生

A	英語・数学 (120 分)	このうち 2 教科	18,000 円/月
		このうち 1 教科	10,000 円/月
B	国語・理科 (60 分)	このうち 2 教科	9,000 円/月
		このうち 1 教科	5,000 円/月

※ A と B の合計がクラス授業の毎月の費用となります。

※ B の教科のみの受講の場合はプラス 2,000 円となります。

3 年生

上段－4月～8月の授業料 下段－9月～2月の授業料		理科・社会の受講教科数		
		2 教科	1 教科	0 教科
英語・数学・国語 の受講教科数	3 教科	42,000 円/月	36,000 円/月	29,500 円/月
		44,000 円/月	38,000 円/月	31,500 円/月
	2 教科	34,000 円/月	27,500 円/月	21,000 円/月
		36,000 円/月	29,500 円/月	23,000 円/月
	1 教科	25,500 円/月	19,000 円/月	12,000 円/月
		27,500 円/月	21,000 円/月	14,000 円/月
	0 教科	16,500 円/月	9,500 円/月	—
		18,500 円/月	11,500 円/月	—

○ 3 年生は推薦対策(面接・集団討論)や受験指導等も含めた授業料とさせていただきます。

〈コース授業〉

課題提出〔国語、理科、社会〕(1、2年)	各 4,000 円 / 月
作文演習 (1、2年)	各 4,000 円 / 月
作文対策 (3年)	各 5,500 円 / 月
小論文対策 (3年)	各 7,000 円 / 月

◎クラス授業、コース授業、個別指導のそれぞれの授業料の合計を毎月のお月謝としてご請求させていただきます。

☆ご負担いただく費用は全て消費税込みの金額となっております。

〈完全個別指導〉

学 年	授業時間 / 回 ×		授業回数 / 週	
	60分×1回	60分×2回	90分×1回	90分×2回
中学1年、2年	12,000円	23,000円	17,000円	33,000円
中学3年	13,000円	24,000円	18,000円	35,000円

◎標準的な形を提示しております。

◎個々の生徒に合わせて時間数を変更したり、組み合わせたりするなどの対応をします。

【教材費】 年間教材費として年度の受講開始時にご請求させていただきます。

1年生 / 2年生 〈クラス〉

英語、数学	各教科	9,000円 /年
国語、理科	各教科	6,000円 /年

※1月以降に受講開始の場合は1教科1,000円減額します。

3年生 〈クラス〉

英語、数学	各教科	11,000円 /年
国語、理科、社会	各教科	9,000円 /年

※12月以降に受講開始の場合は1教科3,000円減額します。

〈課題提出コース〉

国語、理科、社会	各教科	4,000円 /年
----------	-----	-----------

〈作文演習、作文対策、小論文対策コース〉

※こちらのコースでは、テキストを使用しない場合に教材費のご請求はありません。

〈個別指導〉

※指導内容により異なります。ご請求のない場合もあります。

【その他の費用】 — 別途ご案内いたします。

- 模擬スピーキングテスト(英語)受験料
- 春期講習、夏期講習、冬期講習、英検対策講座等の講習料
- 進研テスト(東京都統一テスト)、Vもぎ、Wもぎ等の受験料
- 推薦入試対策(作文/小論文/集団討論 対策講座、集団討論練習会等)

★会場費(施設使用料)、冷暖房費等を別途ご請求することはありません。

《通常授業以外の対応》

定期試験対策

定期試験の直前や期間中に当たる授業の日程を変更して、できるだけ効率良く試験の準備ができるようにします。

定期試験直前学習会

コロナ禍において現在はごく一部の内容に限定して行う予定です。

自習室の開放

コロナ禍において現在は自習室の開放を行っておりません。状況により再開を検討いたします。

英検対策講座

英検の試験の前のおよそ2～3ヵ月間で、日程を決めて具体的な対策を行います。(希望者)

東京都統一テスト (受験は当教室)

1年生と2年生を対象にしています。年間5回の中で希望する回を1回から教室で受験することができます。(希望者)

Vもぎ、Wもぎ (受験は指定会場) [3年]

3年生は会員料金で受験することができます。(希望者)

模擬スピーキングテスト (自宅受験) [3年]

都立高校入試に導入されるスピーキングテスト対策として、3年1学期から複数回受験できます。(希望者)

受験セミナー (塾内/公開)

入試や高校に関しての情報提供の場として数回行います。1年生、2年生の保護者対象の受験セミナーも行います。

都立推薦対策セミナー

都立受検をする生徒対象に行います。

模擬面接

高校入試対策として夏休み中と2学期中に複数回行います。精神面から有効なアドバイスをしながら安心して面接に臨めるように具体的な準備をします。(塾内生は無料)
冬休み以降はオプションの対策講座として有料で受けられます。

作文/小論文対策

都立高校推薦入試対策の一環として、通常対策コースとして受けられます。

集団討論対策

都立推薦入試として集団討論が行われる年度は対応いたします。
都立高校推薦入試対策の一環として行います。

※東京都私塾協同組合主催の集団討論会に複数回参加します。
塾内での練習会も行います。

都立推薦入試として行われない集団討論

プレゼンテーションの準備の補助

推薦試験の中にプレゼンテーションが含まれる場合は、その準備を補助したり、模擬のプレゼンテーションを行います。

私立校の受験補助

生徒が受験しやすい状況づくりをします。

受験個別相談会、受験勉強会の開催

東京私塾協同組合主催で毎年行っています。

※感染症の拡大状況等により開催の有無や開催内容の変更が生じることもあります。

面談（二者、三者）

二者面談、三者面談を年間で複数回行います。
生徒や家庭からの要望があれば随時対応します。

中学部(クラス)の授業日程等のご案内

通常授業

【各学年指導期間】

1年生、2年生は毎年4月から翌年3月の12ヶ月で一学年分の授業を行います。3年生は高校受験がほぼ終了する2月までの授業になりますので毎年4月から翌年2月の11ヶ月を一学年分の授業とします。

【年間授業回数(各教科)】 1年生、2年生 46回〔4(週/月)×12(ヶ月)－2(週分)〕
3年生 43回〔4(週/月)×11(ヶ月)－1(週分)〕

個別授業や各講習、各講座等を除き、クラス授業での各教科の通常授業の年間回数は、月に4回の12ヶ月分または11ヶ月分から、盆と正月に塾としてのお休みを各曜日1週間ずついただく形になります。(3年生は正月休みのみ) 各クラスは週に1回の授業設定ですので、週の数がそのまま年間授業回数となります。年間の各クラスの授業回数は1年生、2年生が46回、3年生が43回となります。

【授業日程】

各クラス授業は、年度ごとの時間割で指定された曜日で受講して頂きます。実際の授業日程は、3ヶ月ごとに事前にお配りする『授業日予定表』で確認しながら受講していただきます。

授業日は学校行事や当教室の事情等により祝日、連休等を考慮しながら授業日を指定させて頂きます。祝日でも教室の授業日になる場合や平日でも教室がお休みになる場合もあります。

各月の実際の授業回数は曜日により異なりますが、年間の回数は共通となっています。

春休み

各学年とも基本的には通常授業はありませんが教室の春休みの期間が学校の春休みと異なる場合があります。各学年とも希望者の春期講習や短期講座、個別指導等の授業のみとなります。

夏休み

1、2年生は、学校の夏休み中も通常授業を行います。8月中旬頃に盆休みとして1週間分お休みをいただきます。また通常授業とは別に、希望者のみ夏期講習としての授業を別途行います。

3年生は、通常授業はありません。夏休み中は夏期講習とその他短期講座や個別指導等の授業のみとなります。基本的には夏期講習を受講して頂きます。受講科目は選択できるので通常の受講科目以外も受講できます。詳細は6月中にご案内します。

冬休み

各学年とも通常授業はありません。この期間の内の1週間が教室の正月休みの扱いになります。各学年とも希望者のみ冬期講習、その他短期講習、個別指導等、推薦入試対策の授業のみとなります。

春休み

各学年とも通常授業はありません。各学年とも希望者の春期講習や短期講座、個別指導等の授業のみとなります。

月謝、教材費、講習費等のご請求/ご納入について

《ご請求項目について》

- 入会費 — (期間限定で免除になる場合があります)
- 月謝 — 通常授業の授業料
- 教材費 — 通常授業の一年度分教材費や個別に提供した教材の負担分
- 講習費 — 夏期講習や冬期講習、英検対策講座等の受講料
- その他 — 業者実力判定テスト、模擬試験、模擬スピーキングテスト等

月謝

【ご請求】「月謝用納入袋」に請求金額を記入して前月下旬頃にお渡しします。新年度の初月分や通常授業の受講内容(教科や回数)の変更後などの場合は、袋の中に内訳を入れてご請求させていただきます。

【ご納入】請求金額を納入袋に入れて当月末までに教室にご納入ください。

☆今年度夏からの振り込み、自動引き落としへの移行を検討しております。

教材費/講習費/入会費/その他

【ご請求】教材費や講習費などのご負担金額が明確になった時点で「教材費、講習費用納入袋」に請求金額を記入してお渡しします。その際、袋の中に内訳を入れてご請求させていただきます。

【ご納入】請求金額を納入袋に入れて、ご請求から半月程度を目安に教室にご納入いただきます。

各種模擬試験等受験料

【ご請求】各種の受験のご案内の中で費用の金額をお伝えします。

【ご納入】申し込み時に現金でご納入いただきます。